

事例:「アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABEイニシアティブ) (African Business Education Initiative for Youth)」

概要

■現地の開発課題

アフリカの産業人材育成と、日本企業のアフリカビジネスを現地でサポートする人材育成が必要

■JICA:「アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ (ABEイニシアティブ)」を主導

アフリカの若者を日本に招き、修士号取得と日本企業などでのインターンシップの機会を提供 ('13~)

- 長期研修プログラムを通じ日本 とアフリカのビジネスを繋ぐ架け橋 人材育成
- 企業インターン、ビジネススキル 研修、企業交流会や修了後の ネットワーキング機会を提供

■民間企業:インターン生受入れ

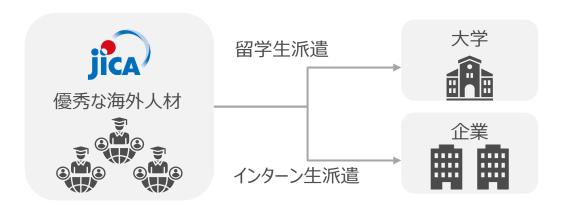
1週間~1か月程度の夏季インターンシップや、大学院修了後の最大6か月のインターン機会提供

■日本の大学: 留学生受入れ

長期留学生を受け入れ、修士号 取得の機会を提供

• 1年~2年半在籍

共創イメージ



- アフリカの若者のための産業人材育成 ABEイニシアチブ (JICA HP掲載パンフレット)
- アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ (JICA HP)
- アフリカビジネス(JICA HP)
- ABE生成果事例(JICA HP)
- ABEイニシアティブ~アフリカの水先案内人(外務省HP)



共創

事例:パプアニューギニア「理数科教育の質の改善プロジェクト」と学校図書株式会社との

概要

■現地の開発課題

国定教科書が存在せず、教材も不足しているため、児童全員が平等に 質の高い教育を受けることが困難

■JICA:技術協力「理数科教 育の質の改善プロジェクト」

教科書開発の技術協力を主導

同国初の国定教科書の開発を、 約4年かけ支援

■学校図書株式会社:教科書な どの教材を開発・展開

初等教育(3~6年生)向けの 理数科の国定教科書と、国定教科 書に準拠したワークブックを作成

学力向上に効果があることが 実証され、パプアニューギニアの 教育省推薦教材として承認

現地教育省との直接契約で低学年 向けの教科書/ワークブックを開発

小学校1~2年生向け

共創イメージ



技術協力で国定教科書開発 (小学校3~6年生)

JICA Bizでワークブック開発 (小学校3~6年生)

教育省



直接契約で教科書/ワークブック 開発(小学校1~2年生)





世銀の教育基金



- 理数科教育の質の改善PJ(技術協力、2016~2019年)
- パプアニューギニア国 初等教育向け算数ワークブックを活用した学力向上にかかるビジネス化 実証事業(JICA Biz、2023~2024年)
- 日本企業が作成した『算数ワークブック』がパプアニューギニアの教育省推薦教材になりまし た! (JICA HP、2024年)
- 開発された教科書と教員用指導書のデータ(ODA見える化サイト)



事例:エルサルバドル「工芸作物バリューチェーン振興プロジェクト」における JICA・日本の輸入業者・ゴディバジャパン株式会社との共創

概要

■現地の開発課題

第一次産業(農業)の生産性・付加価値比率が伸び悩んでいる。輸出を視野に入れた産業育成支援が必要。

■JICA:技術協力「工芸作物 バリューチェーン振興プロジェク ト」(CREVAS)

カカオ生産者を支援、食品の輸入基準の厳しい日本への輸出が可能な品質での生産を支援

- JICA専門家が農園を訪問、 ストーリー性を伝えるマーケティン グ戦略などを助言し、現地のカカ オを高付加価値化
- サンプルを本邦企業に送付、 販売先を探索

■日本のカカオ豆輸入業者: カカオを購入し、ベトナムで加工

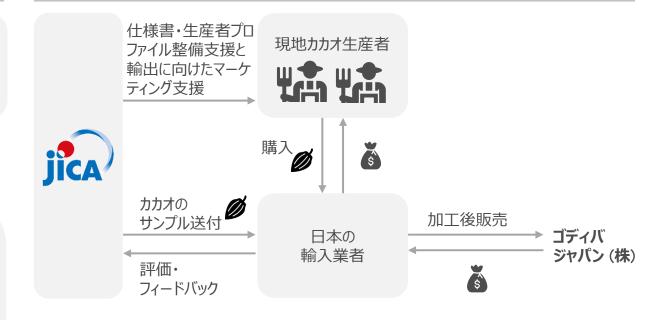
JICA支援先のカカオ生産者のカカオ 豆を購入し、ベトナムに輸出・加工

ゴディバ ジャパン株式会社に 販売

■ゴディバ ジャパン株式会社: 加工済みのカカオを購入、商品化

新商品としてエルサルバドル産カカオ 豆を使用したチョコレート製品を日本 全国で販売

共創イメージ



- 中米最高級エルサルバドルカカオが初の日本市場へ~GODIVA・Chocolate Jungleで全 国展開~ (2024年、JICA HP)
- 対エルサルバドル共和国事業展開計画('22年現在、外務省)
- 技術協力プロジェクトとJICA海外協力隊が協働したイベントへの参加について 本当にエル サルバドルへの「JICA is Back」が実現した日 - (2023年、JICA HP)



事例:ブラジルの省エネ分野におけるダイキン工業株式会社との共創

概要

■現地の開発課題

ブラジルではエアコンの省エネ基準が10年以上見直されず、省エネ性能に優れ た機器が評価されなかった

渇水時の電力不足が深刻化し消費電力の抑制も課題となっているが、 ラベリングの基準が古く省エネ機の普及を阻害

■JICA: JICA民間連携事業 (JICA Biz) にダイキンを採択

規制制度改定のための実証実験や 政府との対話を支援し、現地政府の 全を通じ、現地当局に働きかけ 制度改正を後押し

- "日本が国として動く"という姿勢 を見せた
- ブラジルのエネルギー課題への 対応と日本企業の技術活用の 両方に貢献

■ダイキン工業株式会社:JICA Bizを活用し、基準や制度の改定 に向け現地政府に働きかけ

政府関係者の工場への招聘や懇話

- 汚職防止のため企業が政府機 関に接触しづらかったなか、 省エネ基準改正を達成
- 民間企業の取り組みによって 国の規制改定に至ったのは ブラジルでは初

共創イメージ



現地/国際機関との実証実験のデータを 元に、制度改変によるインパクトをアピール

政府関係者の日本への招聘、政府次官 級会合や懇話会でアピール

現地 政府



現地大学





ASEANと同等レベルへ省エネ基準値 を引き上げ、ラベリングの基準を公布

- ブラジルで環境に優しいエアコンを: 官民連携で省エネ基準改正を実現(2020年、JICA HP)
- ブラジル国 環境配慮型省エネ空調機普及促進事業(JICA Biz、2018~2021年)
- ダイキン、ブラジル省エネ規制で黒字化実現 政府のルール策定に伴走(2025年、日経ビ ジネス)
- 省エネ基準を改正し環境配慮型エアコンを【ブラジル】 (JICA HP、2023年)



事例:アンゴラにおける「トヨタアンゴラアカデミー」 豊田通商株式会社グループ企業からJICAへ、自動車整備の指導員養成を委託

概要

■現地の開発課題

正しい修理技術や知識をもつ自動車整備士が不足しており、故障や交通事故が絶えない

● 自動車のニーズは高いが、定期点検・メンテナンスの意識は低く、壊れるまで修理せず乗り続ける傾向

■ JICA: CFAO Mobility Angolaから研修実施を受託

アンゴラ雇用・職業訓練庁INEFOP カゼンガ職業訓練校における自動車 整備士養成コースの指導員養成事 業を実施。

過去のJICA協力の相手機関で もあるブラジル全国工業職業訓 練機関(SENAI)と連携し、 専門家派遣、教材開発、研修 受入 ■豊田通商株式会社の出資先 CFAO Mobility Angola: 資金・知見・資材提供で研修を支援

CFAO Mobility Angola (豊田通商グループ) から資金・人材・機材を 提供

現地での自動車整備人材の 育成と整備技術の定着により、 高い技術をもつ人材の確保や サービス品質向上を企図

共創イメージ



ブラジル全国工業

職業訓練機関

SENAI

トレーナーによる技術指導

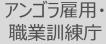
工具等機材・設備等を供与



・CFAO Mobility Angolaは JICA及びアンゴラ行政・雇用・社会保障省下の雇用・職業訓練庁(INEFOP)と協議して、カゼンガ職業訓練校における自動車整備士養成コースの指導員養成プロジェクトを計画。

・上記計画に基づいて委託を 受けてJICAが実施したもの。

専門家の現地派遣・オンライン 指導、ブラジルでの研修実施





INEFOP

カゼンガ職業 訓練校 自動車整備士 養成コース

トヨタアンゴラアカデミー*

講義・実習・OJTで 自動車整備指導員育成



- 「トヨタアンゴラアカデミー」の開校式を実施(豊田通商HP、'20年)
- 「トヨタアンゴラアカデミー」閉講式の開催 (JICA HP、2023年)
- アンゴラ・モザンビーク間で自動車整備士育成に関する技術交換を実施 (JICA HP、 2023年)



事例:タイ「使用済み自動車(ELV)の適正管理に向けた包括的制度構築プロジェクト」を通じた官民一体となった取り組み

概要

■現地の開発課題

自動車の保有台数の増加や電気自動車(EV)への乗換に伴い、使用済み自動車(ELV)の急増が予測される一方、適正に解体・処理するインフラが未整備で、土壌・水質悪化などの環境被害やフロン類の大気放出が懸念

● 日本の「自動車リサイクル法」のような規制/許可の法制度が未整備、 かつ適正にリサイクル・処理するための回収~解体工程が未確立

■NEDO:「アジア省エネルギー型資源循環制度導入実証事業」('17~21年度)

「タイ王国で発生する使用済自動車の効率的かつ適正な資源循環システム構築」で、ELV適正処理に関する制度設計の検討FS調査(矢野経済研究所)、解体重機の導入及びリサイクル実証事業(豊田通商)等を実施

■経済産業省:制度·事業環境整備事業を実施 ('21年度~)

- 海外産業人材育成協会を通じた政府関係者本邦招聘、専門家派遣
- 「経済産業省とタイ工業省の産業発展に関する協力枠組文書」締結
- 日タイ閣僚級対話「エネルギー・産業対話(EID)」('25年度~)

■JICA:「使用済み自動車(ELV)の適正管理に向けた包括的制度構築プロジェクト」('24~27年度)

ELVが適正に回収・解体・リサイクル・処理/処分されるメカニズムを検討し、 ELV管理制度(案)及びその実施計画(案)を策定・提案

共創イメージ



- ▼ジア省エネルギー型資源循環制度導入実証事業事業評価分科会('18年、NEDO)
- <u>タイ国使用済み自動車(ELV)の適正管理に向けた包括的制度構築プロジェクト詳細計</u> 画策定調査(2023年、JICA地球環境部 環境管理・気候変動対策G)
- <u>JICA技術協力プロジェクト タイ国「使用済み自動車(ELV)の適正管理に向けた包括的制度構築プロジェクト」</u>(2024年、JICA地球環境部環境管理・気候変動対策G)
- タイで廃車リサイクルは可能か ~JICA事業始動、課題は山積み~(THAI BIZ、'24年)